

自己点検・評価報告書

令和5年3月31日

学校法人 日建学園 宇都宮日建工科専門学校

目 次

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

- 【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか
- 【1-2】 学校の特色は何か

基準2 学校運営

- 【2-1】 運営方針が定められているか
- 【2-2】 日本語学科の学習・行事計画は定められているか
- 【2-3】 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか
- 【2-4】 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか
- 【2-5】 意思決定システムは確立されているか
- 【2-6】 情報システム化等による業務の効率化は図られているか

基準3 教育活動

- 【3-1】 各学科の教育目標・育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか
- 【3-2】 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか
- 【3-3】 カリキュラムは体系的に編成されているか
- 【3-4】 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 【3-5】 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
- 【3-6】 資格取得の指導體制はあるか

基準4 教育成果

- 【4-1】 学生の希望進路の達成が図られているか
- 【4-2】 資格取得率の向上が図られているか
- 【4-3】 欠課率の低減が図られているか

基準5 学生支援

- 【5-1】 進学に関する体制は整備されているか
- 【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか
- 【5-3】 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
- 【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 【5-5】 校外活動に対する支援体制は整備されているか
- 【5-6】 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか
- 【5-7】 卒業生への支援体制はあるか

基準6 教育環境

- 【6-1】 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 【6-2】 防災に対する体制は整備されているか

基準7 学生の募集と受け入れ

- 【7-1】 学生募集活動は、適正に行われているか
- 【7-2】 学生募集活動において、教育成果は正確につたえられているか
- 【7-3】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか
- 【7-4】 学納金は妥当なものとなっているか

基準8 財務

- 【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 【8-2】 予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか
- 【8-3】 財務について会計監査が適正に行われているか
- 【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか

基準9 法令等の遵守

- 【9-1】 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- 【9-3】 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
- 【9-4】 自己点検・自己評価結果を公開しているか

[基準 1] 教育理念・目的・育成人材像等

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【1-1】 理念・目的・育成人材像は定められているか	<ul style="list-style-type: none"> 理念・目的・育成人材像は「外国籍者に対して日本語及び、日本の生活文化の教育を行うことを目的とする」と定められている。 教育目標 <ol style="list-style-type: none"> 実践的な日本語能力の育成 多文化共生力の育成 国際社会で活躍できるグローバル人材の育成 	A	<ul style="list-style-type: none"> レベルに応じた日本語指導を行っている。 行事においては、日本文化体験の機会を与えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に授業内容等を検証し、学生に即してプログラムを作成する。 理念等について共通理解の場を持つ。 	学則 HP
【1-2】 学校の特徴は何か	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県における日本文化を体験出来る。 建築学科の学生と交流しながら、日本語のコミュニケーション向上が図れる。 JLPT取得のための指導に重点を置いている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 日光世界遺産、那須方面への校外研修を実施している。 スポーツ大会など、建築学科と合同で学校行事を行っている。 JLPTを必須受験とし、強化月間を設け、模擬試験を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> 更に効果的な日本文化並びに、栃木の地域理解を促進させる。 受験者の合格率向上を図る。 	JLPT受験者・合格率データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
<ol style="list-style-type: none"> 理念・目的・育成人材像についての共通理解が不十分である。 建築学科との交流を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 常勤教員、非常勤教員一丸となった共通理解の実現を図る。 校内での交流の機会を増やす。

[基準 2] 学校運営

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【2-1】 運営方針は定められているか	・学校の目的・目標・方針は定められ、全教職員が理解している。	A	・教師個々の取り組みは十分である。	・全体レベルでの共通理解を図る。	
【2-2】 日本語学科の学習・行事計画は定められているか	・実行すべき計画立案がなされている。	A	・長期的な計画の基に学習計画や行事が組まれている。	・全体の流れを全体の職員が把握し、よりスムーズに実行されるように努める。	
【2-3】 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	・日本語学科の重要事項については、定期開催のミーティングと校長、副校長との協議により意思決定されている。	A	・分掌表に基づき、役割分担を行っている。	・分掌表では、1人が多くの役割を担い、見極めが難しいが評価できるシステムを検討したい。	
【2-4】 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	・人事は本校で推薦し本部で承認するシステムである。賃金等については「給与規定」に基づき校長の教職員への評価が加算され決められる。	A	・賃金については、給与規定に基づき定められている。それに伴い各教職員について校長の評価が加算される。	・校長による授業訪問等により評価されるので、妥当と思われる。	人事考課制度

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【2-5】 意思決定システムは確立されているか	・校長をはじめ、教職員会議によって意思決定されている。	B	・現状維持で妥当である。	・一般的な企業のような職場環境ではなく、少人数の組織等のこともあり、問題ないと思われる。	
【2-6】 情報システム化等による業務の効率化は図られているか	・全教職員が端末を持ち、情報システム化され、資料・データ等の共有化されており、効率的な運営がされている。 PCの新しいOSにも対応している。	A	・情報システムに精通した職員から操作方法等の習得を積極的に推進する。また、マニュアル等の作成についても検討する。	・元年度に、校内全てのPCをリニューアルしたので、ハード、ソフトともに問題なく稼働している。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
<p>1 学校運営の目的は、学生への教育と教職員の資質向上が不可欠である。</p> <p>2 学生への教育については、学生個々の目標を達成するために、授業だけではなく、資格取得なども推進していきたい。</p> <p>3 教職員の資質向上については、個々の教職員の力量によるが、日々研鑽する姿勢が必要である。</p>	<p>1 効率的に達成できるように、全教職員が学校運営にあたる体制を構築する。</p> <p>2 教育の推進を図る。具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学生の実態を踏まえた諺号の推進 ②JLPT 取得率・合格率の向上 ③出席率の維持 <p>3 教職員の資質向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①教員間での疑問点等を、意見交換を交え解消する。

[基準 3] 教育活動

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【3-1】 各学科の教育目標・育成 人材像は、その学科 に対応する業界の人材 のニーズに向けて正しく 方向付けられているか	・育成する人材像は、国際感覚にあふれ、異なる文化や価値観を尊重・理解し、グローバルな視野を持ち、日本及び世界でも活躍できる人間である。	A	・日本やクラスメイトの文化を理解して、異文化を理化する視野を広げている。	・変化する言葉や文化を授業等に取り組むよう努める。	
【3-2】 修業年限に対応した教育 到達レベルは明確に されているか	・学生の実態に応じて、1年コース、1.6年コース、2年コース毎の到達レベルが確立されている。	A	・プレースメントテストや面談を元にクラス決定を行っている。	・現状に即したコースの編成に努める。	・学生アンケート ・プレースメント テスト
【3-3】 カリキュラムは体系的 に編成されているか	・1年コース、1.6年コース、2年コースがあり、組織的・体系的に編成されている。	A	・各コースのカリキュラムに基づいて指導している。	・定期的カリキュラムの見直しを行う。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【3-4】 授業評価の実施・評価体制はあるか	・教師自ら授業評価を行い、より良い授業につなげている。	B	・学校評価の際に授業評価を行っている。	・授業評価を収集するだけではなく、次の授業に生かすことが必要であり、教授法の研修にも努めたい。	
【3-5】 成績評価の基準は明確になっているか	・成績評価基準を項目毎に設けている。	A	・成績評価の基準は明確に示され、年に2回の期末テストと通常授業等で評価している。 ・テスト成績だけではなく、レポート、出席率、授業態度など多面的に評価している。	・分かり易い評価方法を模索する。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【3-6】 資格取得の指導体制はあるか	・目標とする資格取得に向けた対策を行っている。	A	・模擬テストや過去問を使用し対策を行っている。	・より良い対策のための情報収集に努める。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
1 JLPTの合格率が向上している。	1 初級レベルでのJLPT取得率と合格率の向上を目指す。

[基準 4] 教育成果

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【4-1】 学生の希望進路の達成が図られているか	・大学/短大/専門学校6名・就職3名	A	・学生の希望に応じた進路指導を行っている。 ・学生への情報を提供を行っている。	・学生のモチベーションを上げるため、資格の重要性を学生に伝える。	
【4-2】 資格取得の向上が図られているか	・JLPT N1:3名 N2:13名 N3:7名 N4:4名 ・J.TEST(A-Cレベル) Cレベル:1名 ・BJT Total Score:446	A	・各コース毎に取得できるカリキュラムで対応している。	・新たな年度に向け、カリキュラムを見直し、フォロー体制の充実と、さらなる指導を検討したい。 ・学生が取得できる資格を周知するとともに、学生の意欲を喚起する方法を検討したい。	
【4-3】 欠課率の低減が図られているか	・毎月出席率を学生に提示し、周知、指導を行っている。	A	・欠席者の欠席理由を明確にして、指導を行っている。	・欠席理由の連絡の徹底を図る。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	改善のための方策	具体的な取組状況	参考資料・データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
1 資格試験の取得率の向上に伴い、学生の達成感も向上した。	1 在留期間満了学生の管理の厳格化を図る。

[基準 5] 学生支援

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【5-1】 進学に関する体制は整備されているか	・進路指導担当が学生のニーズに沿った指導を行っている。就職希望者へも対応している。	A	・クラス担任と進路指導担当の連携を密に行っている。また、早期に説明会に参加するなど積極的に活動するよう指導している。	・進路指導担当とクラス担任とが、コミュニケーションを取りながら、組織的に指導する体制を整えたい。	
【5-2】 学生相談に関する体制は整備されているか	・学生からの相談は、主にクラス担任が担当しており、必要に応じて個別面談を実施している。	A	・教職員は日々、積極的に学生とのコミュニケーションを図り、相談等があれば迅速に対応している。	・学生からの相談ごとは、クラス担任だけに任せるのではなく、教職員全員で、情報を共有化し解決したい。	
【5-3】 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	・在学中は寮費無料としている。	A	・経済的負担の少ない店を紹介したり、寮生間の物品譲渡を促進している。	・寮を含む学校の施設を大切に扱うように指導を強化していきたい。	
【5-4】 学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	・年度始めに全学生を対象に健康診断を実施している。	A	・体調不良の学生と連絡を密にし、置き薬や病院へ付き添うなどの対応をとっている。	・事務職員とクラス担任が連携を密にし、円滑に対応したい。 ・常駐していない学校医・看護師との連絡・連携を密にし、今後とも対応していきたい。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【5-5】 校外活動に対する支援体制は整備されているか	・年2回のスポーツ大会、国内研修旅行等の校外活動を実施し、支援体制は整えられている。	A	・年間行事は教育活動に含まれ、出席率の対象となっているので、積極的に参加するよう促している。	・校外活動の引率体制を協議し、安全性を高めて実施できるよう心掛ける。	
【5-6】 学生寮等、学生の生活環境への支援はおこなわれているか	・学生の非常時対応の体制を明確にしている。	A	・施設等の修繕に際しては、速やかに対応している。	・教職員との連絡を密にし、学生の困りごとを常に把握する。	
【5-7】 卒業生への支援体制はあるか	・卒業後に相談や現状報告するために来校する卒業生が多く支援しており、職員で情報を共有し適切に対応している。	A	・来校しない卒業生に対しては、アンケートなどにより情報収集に努めている。	・卒業生のネットワークを確立させる。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
<p>1 学生支援は、教育を支える側面が大きく、大切なものである。</p> <p>2 充実した学生生活を送れるように、各方面から支援する必要がある。</p>	<p>1 支援は充実した学生生活を送れるように各種の相談、経済的支援、健康管理及びエージェントとの連携など、これらを充実させることが教育には大切である。</p> <p>2 相談は、全教職員により迅速かつ適切に対応できているので、継続していきたい。</p> <p>3 エージェントとの連携は、密にすることが大切である。「期待される学校・学生」を育てることから、連携を密にしていきたい。</p>

[基準 6] 教育環境

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【6-1】 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・教育上の必要性に十分対応できるよう、施設・設備は整備されている。 ・各教室に大型液晶テレビを導入した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・不具合が出始めている設備等について、メンテナンスを計画的に実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回施設・設備等の点検改修できる体制を整備したい。 	
【6-2】 防災に対する体制は整備されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・防災設備メンテナンス会社と契約し、定期点検を実施している。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションで避難場所と緊急時の対応について確認している。 ・防災機器等の点検を行い、不備があれば、その都度、修理等をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画により、防災組織・役割及び活動内容が定められている。 	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
1 施設・設備は指定基準を満たし整備されているが、メンテナンスを計画的、定期的に行い、教育上有効に機能させる。	1 防災訓練の実施と防災設備のメンテナンスを実施する。

[基準 7] 留学生の募集と受け入れ

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【7-1】 学生募集活動は、適正に行われているか	・年に数回現地へ赴き、学校案内パンフレット・募集要項、学校紹介PPで広報に努めている。現地調査やスカイプで現地との面接も実施している。	A	・過去の募集活動を分析し、募集活動を展開している。 ・募集定員はほぼ満たしている。	・募集担当者と職員との共通理解を更に深める。	
【7-2】 留学生募集活動において、教育効果は正確につたえられているか	・イベントや試験結果などの報告を絶えず行っている。	A	・入国時や各自イベント時の学生の様子を動画や写真などで報告している。 ・JLPT試験結果や進学状況をエージェントに報告している。	・SNSなどを駆使した情報発信に努める。	
【7-3】 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	・入学希望者には、本人のやる気と日本語能力、支弁者の経費支弁力を確認し、合格判定会議で決定している。	A	・現地での面談やスカイプ面接、経費支弁者の現地調査などで判断している。	・合格判定基準の周知と共通理解を図る。	
【7-4】 学納金は妥当なものとなっているか	・分割納入者の支払いが遅れがちである。	A	・毎月集金封筒を配布し、現金で納められるようにした。	・学費を滞納しないような意識改革を図る。 ・最終週を学費支払い週間と定める。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	改善のための方策	具体的な取組状況	参考資料・データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
1 入管の動向により先が読めない厳しい状況にあるが、他校と比べると許可率が高い現状である。	1 入管への申請書類のチェックを今まで以上に厳密に行う。 2 エージェントの申請書類に関する綿密な連絡を取るようにする。

[基準 8] 財務

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【8-1】 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	・昨年度、今年度と入学者が増えたので、財務基盤は少しだが持ち直しつつある。	C	・まずは募集人数を定員になるよう、募集・広報活動を活発化して行く。 ・建築の魅力を高校生たちに伝える必要がある。	・平成25年度より少しづつではあるが入学者が増加している。現状維持出来るよう学生募集活動を力を入れていきたい。	
【8-2】 予算・収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	・予算・収支計画は妥当といえる。 予算に見合った事業計画を立て、少しでも多くの利益を生むよう努力して行く。	C	・年度の事業計画を作成し、その実現のために適正かつ適切に予算が決定されている。	・唯一、学生募集状況にかかっているので、入学者の人数を増やす手立てを検討し実行すること。	
【8-3】 財務について会計監査が適正に行われているか	・グループ校全体で公認会計士の指導のもと適正に行われている。	B	・公認会計士の指示に従い適切に行っている。	・特に課題を感じない。	
【8-4】 財務情報公開の体制整備はできているか	・財務書類等閲覧規定があり、「財務書類等閲覧申請書」により、申請があれば規定の範囲で閲覧できる。	B	・財務書類をファイル化し、事務室で管理しており、求められれば閲覧できるようになっている。	・特に課題を感じていない。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
<p>1 学納金が、収入源であり、学生の確保と退学者の減少に努めることが依然重要である。</p> <p>2 財務については、法人として公認会計士の指導のもと、適正に処理されているので、継続して適正に処理にしてい。</p> <p>3 財務情報の公開については、求められれば閲覧できる状況にあり、今後もこの方向で検討する。</p>	<p>1 学生確保と退学者の減少に全教職員一丸となって、全教職員経営者の視点で当たっていく。</p> <p>2 財務情報の公開は、閲覧希望もないことから、今後ともこの方向で検討したい。</p>

[基準 9] 法令等の遵守

自己点検・評価報告書

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ
【9-1】 法令、日本語教育機関の告示基準等の遵守と適正な運営がなされているか	・法令、日本語教育機関の告示基準等は遵守され、適正な運営に向け努力している。	B	・令和元年9月1日より施行された新しい告示基準に合わせて行っている。	・令和元年9月1日より施行される新しい告示基準に合わせ、学生管理を厳格化すると共に、報告等が適切に行われるように努める。	
【9-2】 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	・個人情報関連の資料は施錠できる保管庫に保存している。全てのパソコンはパスワードを設定しており、個人情報がある書類はシュレッダー処理を徹底している。	A	・個人情報規定があり、規定に基づいて運営されている。	・特に問題は感じていない。	
【9-3】 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	・自己点検・自己評価に実施については、問題が持ち上がった時点でその都度解決を図るようにしている。	A	・自己点検・自己評価は定期的の実施している。今後はフィードバックするようにしたい。	・個人評価の受け止め方、解釈の仕方など多様であるが、個々の成長のためにも評価を活用したい。	
【9-4】 自己点検・自己評価結果を公開しているか	・令和5年6月下旬に公開	A	・令和5年6月下旬に公開	・評価委員会等の設置を検討する。	

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検中項目	現状認識・評価等	評価	具体的な取組状況	改善のための方策	参考資料・データ

評価基準 A…達成した B…ほぼ達成した C…現状維持 D…現状より悪くなった NA…あてはまらない

点検大項目の課題と成果	次年度に向けての課題(方策・目標・その他)
1 法令、日本語教育機関の告示基準等は、遵守され、適正に処理されているので、今後も適正に運営していきたい。 2 自己点検・自己評価は、定期的の実施していく。	1 法令、日本語教育機関の告示基準等は、遵守され、適正に処理されているので、次年度も適正に運営していきたい。 2 自己点検・自己評価は、様式・方法、そして、結果をどのように教職員にフィードバックするかなど検討していきたい。